



下曽我小学校  
学校だより

# 梅の香

令和8年2月13日  
藤本 明美

No.10

ふるさと下曽我を愛する子

夢に向かって挑戦する子

思いやる心を大切にする子

仲間とともに進んで行動する子

\*記事の色はめざす子どもの姿に合わせています。

## ◆梅の花を楽しみました◆

梅まつりに先立ち、2月2日(月)に1、2、4年生となかよし級が梅の写生会を行いました。今年は例年になく梅の開花が早く、早咲きの十郎はほぼ満開。この日は天気にも恵まれ、暖かな太陽の光を浴びながらのんびりと梅を楽しむ素敵な時間になりました。

写生の時間が始まると、子どもたちはすぐに梅の花や枝ぶりを見ながら、お気に入りの場所を探して描き始めました。一人で集中して描く子、友達との会話をしながら描く子と形は様々でしたが、どの子も梅をよく見て美しさを味わいながら描いていました。

表現の仕方も様々で感心しました。花に注目してアップで描く子、富士山や散歩で通った園児などを入れてルーズで描く子、オイルクレパスやクレヨンをこすって色をぼかす子、枝の色を表現するために何色も重ね塗りする子……。自分が感じたことを自分の方法で表現しようとする姿が見られました。約1時間の写生でしたが、終わった後の満足そうな表情が印象的でした。

写生の後は、1年生と4年生が梅まつり開催に向けて、梅林の清掃を行いました。

小田原北条氏が統治していた頃から栽培されていたといわれる梅。大切に守り受け継いできた地域の思いを今度は子どもたちがつないでいきます。



3年生が作った梅干しを小田原梅干品評会に出品しました。見事「審査員特別賞」をいただき、クラス全員で褒賞授与式に参加しました。

梅学習にご協力いただいた地域の皆さま、ありがとうございました。

## ◆101回目の開校記念日◆

下曽我小学校は大正14年1月15日に開校しました。もともと下曽我の子どもたちは千代小学校に通っていましたが、徐々に汽車の往来が増え、線路を渡って登下校することが大変危険になってきました。「安心して通える学校がほしい。自分たちの村に学校を作りたい。」と考えた村の人たちは、校舎を建て、学校としての許可を得るため尽力したそうです。こうして101年前、下曽我に小学校が誕生し、589名の子どもたちが通いました。

下曽我小学校は、子どもたちのことを思う村の人たちの熱い思いによってできた学校です。そして、この思いは受け継がれ、今も地域の力に支えられて教育活動が行われています。101年の歴史に誇りをもち、地域の皆さまのご協力に感謝して、子どもたちの笑顔がさらに輝く学校づくりに努めてまいります。



← 創立当初の校舎

## ご存じでしたか? ~下曽我豆知識~

- ① 下曽我はミカン、梅、キウイフルーツの栽培が盛んですが、その中のミカンをもとにデザインされました。ミカンの輪切りを3枚の葉で囲んでいます。
- ② 現在の金次郎像は2代目です。初代の金次郎像は昭和10年にできましたが、その後の戦争で金属供出となり、兵器や弾薬に姿を変えました。今ある金次郎像は、戦後に寄贈されたものです。石の台は昭和10年と書かれていて、昔の物をそのまま使っていることが分かります。
- ③ ジングルジムと鉄棒の間に小さなエノキがあります。これは、7年前にいただいたものです。このエノキは広島の実爆に耐え抜いたエノキの3世、つまり孫にあたります。生命の尊さ、平和の大切さを子どもたちに伝えてくれています。





## ◆感謝の会◆

1月30日(金)、お世話になっている地域ボランティアの皆さんを招待し、感謝の会を行いました。

初めに、スライドによるボランティア活動の紹介が6年生からあり、その後、ご挨拶をいただきました。印象的だったのは、話を聞く子どもたちの様子です。どの子もボランティアの皆さんの顔を見つめ、頷いたり笑顔になったりしながら集中して話を聞いていました。登下校や教育活動などで時間を共有する中で、子どもたちと地域や保護者の皆さんとの間に、信頼関係や心のつながりが育まれていることを感じ嬉しく思いました。

子どもたちは、感謝の呼びかけ、「赤い屋根の上」の合唱、折り紙で作った花束をプレゼントしました。

子どもたちは、自分たちの成長が様々な人に支えられていると感じるとともに、ボランティア活動の姿から奉仕の心や思いやりを自然に学んでいます。学校教育へのご理解、ご協力に心より感謝申し上げます。



折り紙ボランティア

梅学習



体力テスト

交通安全教室



花ボランティア

探検ウォーク

下曽我応援団ぶらぶら



見守りボランティア

読み聞かせボランティア

## ◆避難訓練(地震)◆

1月16日(金)に地震の避難訓練を行いました。地震の避難訓練というと、机の下に入って頭を守り、揺れがおさまったら速やかに運動場に出るのが、これまで行われてきた内容です。今回は、訓練の仕方を見直し、災害時における様々な状況を具体的に想定したより実践的な訓練を行いました。

今回の想定は・・・

- ・震度5強
- ・停電(放送使用不可)
- ・余震の継続
- ・各教室でけが人が出たりパニックを起こして泣いたりする児童あり



子どもたちは、緊急地震速報が繰り返される度にシェイクアウトの姿勢(ダンゴムシの姿勢)をとりました。放送が使用できないので、教職員が子どもたちの安否と校舎の状況を確認しながら校舎を回り、優先順位を決めてけが人や体調不良者の対応を行うという動きを確認しました。



担任がいないとき、廊下やトイレにいるときなど様々な状況で、地震が発生することが考えられます。いかなる状況でも自分の命を守りぬけるような様々な場面を想定した訓練を計画的に行い、子どもたちの主体的に行動する態度を育成していきます。

## 【お知らせ】

令和7年度卒業式は、3月19日(木)10時開式です。今年度は全校児童が出席します。1～4年生は11時15分、5、6年生は12時下校の予定です。



📄 行事予定はこちらからご確認ください。



📄 学校 HP もご覧ください。  
学校だよりをカラーでご覧いただけます。

[https://www.ed.city.odawara.kanagawa.jp/shimosoga\\_s](https://www.ed.city.odawara.kanagawa.jp/shimosoga_s)